

豊田市議会議員

発行 令和5年1月 水野ひろふみ後援会 発行人 柴田隆広

水野ひろふみ レター -第18号-

Hirofumi Mizuno LETTER

繋ごう! 地域力

とよた元気プロジェクト
WE
LOVE
とよた

「福祉とスポーツのまち とよた」を目指して

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、12年ぶりの世界ラリー選手権(WRC)が豊田市で開催され、本市の美しい山村地域や豊田スタジアムの映像が世界中に発信されました。そして、2023年も豊田市主催によるWRC開催が決定しております。これは、豊田市が、「豊田市ここにあり!」と、全世界に向けてアピールできるチャンスです。

このモータースポーツという新しい分野での取り組みにより、「車のまち豊田」と「スポーツのまち豊田」に、もうひとつ「モータースポーツのまち豊田」を加えることができるようになります。3分野が融合することにより、豊田市の魅力が増大することでしょう。また、愛知県全体としても、R5年度中に、話題となっているジブリパークの2エリアの整備が完了します。これは、観光産業にとって追い風となる明るい話題です。コロナ感染症の完全収束は見込んでいませんが、いつまでも立ち止まってはられません。

今年は、きっと変化の年になると思います。このような年にこそ、自分が何をするために活動しているのか、もう一度見つめなおし、困難があっても、軸のぶれない行動が重要と考えます。そこで、今年の言葉を「一意専心」とし、美里・益富地区が、豊田市が、より良くなって行くために、ひたすら一つの事に心を集中し、全力で取り組んでいく所存です。また災

害面では、いつ起こるか分からない南海トラフ地震を常に意識する必要があります。地震等が起きた時には、地域がお互いに助け合う気持ちになれるよう、顔の見える関係づくりが今後も重要と考えます。その為にも、安心・安全のまちづくりを地域の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

新しい年がスタートしましたので、まずは私から明るく元気に笑顔で日々を過ごして参ります。

豊田市議会議員 水野ひろふみ



定例会一般質問 12月6日(火)

戦略的な公営住宅セーフティネットの確立

質問の骨子

人口は減少局面を迎えてきたが、高齢者世帯やひとり親世帯が増加しているために、住まいの需要は減少をしていない環境下にある。今後はセーフティネット住宅が注目を浴びることになると考え、本市の世帯数の現状を確認し、公営住宅の方向性を質問する。

質問 1

本市の高齢者世帯の傾向と課題は

答弁 1

市内全世帯のうち高齢者を含む世帯の割合は平成27年が32.8%、令和2年34.4%で増加傾向。中でも高齢者単身世帯は、平成27年が9,535世帯であったのに対し、令和2年は、12,250世帯と5年間で約30%増加している。また、高齢者夫婦世帯も3%、世帯数にして約3,000世帯増加している一方で、多世代同居世帯の割合は、52.8%と平成27年の調査から6ポイント減少しており、核家族化の傾向が一層顕著になっている。

課題は、高齢者のみの世帯に加え、昼間の間、家族が仕事や学校のため家を離れ、実質的に高齢者だけになる世帯も相当数あると推測され、見守りや支援が必要な高齢者をいかに把握し、支援に繋げていくかが挙げられる。

質問 2

築後30年を超える市営住宅の現状と課題は

答弁 2

築後30年を超える市営住宅の現状は、全26住宅のうち16住宅、住戸数としては973戸となっ

ている。これは全2,126戸のうち約46%にあたる。基本的な考え方は、修繕を計画的に行い、機能を維持していく。一方、特に建築年が古い、初吹住宅や、浜居場住宅は、部分的な修繕・改修等により適切な施設の維持管理を行っているが、施設自体の老朽化の進展も見られ、今後の方向性の合意形成を図る必要がある。

提言

益富地区では、国道301号4車線化に合わせて歩道の新設や交差点改良の要望が出されている為、まちづくりと連携した浜居場住宅の早期建て替えを提言する。

質問 3

まちづくりと連携した市営住宅施策の展開をどのように考えているのか

答弁 3

市営住宅に係る施策の展開にあたっては、それぞれの住宅の築年数や施設の状況はもとより、民間住宅のストックの状況や市営住宅

全体の均衡を見極めること、そして、周辺の道路整備などの公共事業をはじめ、当該地区周辺のまちづくりも踏まえることが、重要と認識している。特に老朽化が進んでいる市営住宅の建て替えについては、こうした視点を踏まえ今後、できるだけ早く時期、整備内容などを判断して進められるよう取り組んでいく。



▲ 志賀浜居場住宅

65歳以上の単身世帯



地域のイベント

少しずつ地域のお祭りやイベントにも来賓として招待をされる機会が増えてきました。こうした集まりが地域の「顔の見える関係づくり」に寄与しているのを感じます。また、笑顔で話すことの大事さを改めて痛感させて頂きました。



▲ 野見お祭り



▲ 大見お祭り



▲ 御立お祭り



▲ 志賀お祭り

障がい者スポーツを通じた共生社会の実現

質問の骨子

2011年にスポーツ基本法が改正され、障がい者スポーツの基本理念が初めて規定された。しかし障がい者のスポーツの推進が進まない状況である為、課題を確認し障がい者スポーツを通じて共生社会の実現を目指すために質問する。



質問 1

障がい者スポーツの課題をどう捉えているのか

答弁 1

愛知県が令和3年度にまとめた、障がい者スポーツの現状と課題では、多くのスポーツ指導者が障がい者への指導経験に乏しいことから、障がい特性を理解した人材の育成が課題である。

また、多くの市民にとって障がい者スポーツを知る機会や体験する機会が少なく、魅力が市民にあまり浸透していないことも触れている。これらの課題は本市においても同様と捉えており、スポーツ指導者を含めた多くの市民に障がい者スポーツを知ってもらうとともに、理解促進と支援体制の強化が必要だと考えている。

質問 2

障がい者スポーツの理解促進に向けた普及啓発は

答弁 2

小学生に夢を持つことの重要性などを伝える「夢の教室」にパラアスリートが登壇するなど、障がい者スポーツの理解促進に努めている。その他、障がい者スポーツ大会である「U25日本車いすバスケットボール選手権大会」と「日本ボッチャ選手権大会」を誘致する施策として、会場使用料の一部を補助し、障がい者スポーツを見る機会を提供するほか、2つの大会が令和5年1月にスカイホール豊田で開催されるのを機に、大会会場等で

体験会やPRブースの設置等の啓発イベントを実施し、市民の関心を高めていく。

提言

障がい者スポーツを振興していく為にも、身体障がい者や身体障がい児がスポーツに取り組む際に障壁となっている経済的な負担を軽減するスポーツ競技用補助具の助成の新設を提言する。



▲ 共生社会を目指したスポーツ大会

質問 3

障がい者スポーツ競技用補助具購入の助成の新設の考えは

答弁 3

現時点では、障がい者スポーツ競技用補装具等購入費の助成に対するニーズは把握していないが、市民ニーズや他市の導入状況を調査

しつつ、スポーツ推進審議会に諮り、専門家などの意見もふまえて、助成の新設も含めたアスリート支援について議論していく。

質問 4

共生社会と障がい者スポーツの考えと方向性は

答弁 4

多くの市民が、障がい者スポーツを観戦したり、共に競技することは、障がいに対する理解を深め、障がいのある方の活躍の場の拡大や、社会参加を促進することにつながるとともに、多様性を尊重しあう共生社会を実現するために、大きな意義があると認識している。「第4次豊田市生涯スポーツプラン」では、施策の柱の一つとして「スポーツを『する』機会の拡充」に、障がい者スポーツへの取組を位置付けている。今後は障がい者スポーツの交流事業やサポート体制、普及啓発、教室支援などを継続・強化することに加え、アスリート支援や指導者育成にも目を向け、総合的・包括的な視点で対策を講じるよう取り組んでいく。それにより、障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しめる共生社会の構築を目指す。

その他の活動報告等は公式サイトにて更新しております！ぜひご覧ください！
水野ひろふみ公式サイト / 豊田市議会議員
mizuno-hirofumi.jp



▲ 消防団水防訓練



▲ 野見山ラジオ体操



▲ 美里ふれあいまつり



▲ 益富ふれあいまつり



▲ ボッチャ大会



▲ 五ヶ丘防災訓練

市長表敬訪問

昨年8月には美里・益富区長会と一緒に地域課題の要望書をお渡しするの合わせて、各地域の実情をお伝えに豊田市長表敬訪問を致しました。



▲美里区長会市長表敬 集合写真



▲益富区長会市長表敬 集合写真



▲美里区長会市長表敬



▲益富区長会市長表敬

活動1

水野ひろふみ後援会活動

秋のマレット大会

親睦後援会旅行が中止になった代わりに、秋にもマレットゴルフ大会が開催されました。とても気持ちの良い秋晴れの日、スポーツと親睦を図る事が出来ました。



▲益富マレットゴルフ大会



▲ご来賓の皆様



▲美里マレットゴルフ大会

活動2

ふれあい集会

3年ぶりのふれあい集会では、地域の課題やご意見をお聞きする事が出来て、まだまだ知らない事の課題がある事を教えて頂きました。



▲広川ふれあい集会



▲泉支部ふれあい集会



▲森支部ふれあい集会

活動3

美里・益富支部長会・女性会

美里益富地区合同の正副支部長会議では、後援会活動の根本を支えて頂き、私が議員活動を続けていけるパワーの源になっています。



▲水野ひろふみ後援会合同支部長会



いつも暖かく
見守って頂いている
後援会女性会の皆様と



市政のご意見・相談はこちらまで - みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください -

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295

WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail letter@mizuno-hirofumi.jp
【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ
入口の目安箱に投函
ください。